

各委員会・分科会での主な審査概要

総務企画委員会・分科会

質 令和3年度一般会計予算編成の詳細について。

答 地域経済、市民生活全般にわたり、新型コロナウイルス感染症の影響が見られることから、市民サービスの質の維持に配慮しつつ、これまでの懸案課題にも積極的に取り組む予算を編成した。予算規模の増大に対応するため、歳出削減に取り組むとともに、地域振興基金、ふるさと納税基金等の特定目的基金や、新制度へ移行予定の過疎債、活用期限が延長となった合併特例債等の有利な起債を最大限活用し、さらには、不足分を財政調整基金繰入金で賄うなどして財源を確保した。

また、一般財源においては、能代火力発電所3号機建設を主な要因として、固定資産税を増額とした一方で、地方交付税は前年度比10億円の減額として計上した。その主な要因は、市税増収と、令和2年の国勢調査結果に基づく人口減少の影響等を考慮したものである。

また、新型コロナウイルス対策については、2年度に多くの事業を実施しており、3年度の予算では、仮設診療所運営費等、継続的事業を中心に計上し、新たな施策については、今後の感染拡大状況等を見据えながら、随時修正予算等に対応したいと考えている。

予算編成後の財政調整基金残高等の状況から、より一層の歳出削減、財政健全化に努めなければならないと、改めて強く認識した。

質 北高跡地活用可能性検討業務等委託料の概要は。

答 令和2年度の基礎調査において、関連計画等の把握整理や、歴史的背景、現況調査、利活用の可能性と案件整備の整理、施設のコンセプト及びゾーニングの検討を行っている。

3年度では、調査結果を基に、利活用の更なる具体化に向け、庁内検討会議で検証するとともに、必要となる機能や管理運営体制等の調査を実施し、あわせて関係団体、市民との意見交換やワークショップを企画したい。

現時点では、設計に係る詳細なスケジュールは未定だが、具体化に向けた検討を継続していきたい。

質 東中跡地活用調査等事業費の概要は。

答 これまで、地域での意見交換を重ね、調整を進めているもので、現在、東中跡地の一部を社会福祉法人能代ふくし会の事業所である、ぴあわーくの施設用地として無償貸付が決定しており、令和3年度の着工、供用開始が予定されている。敷地の一部ではあるが、利活用の方向性が見えてきた中で、市では、地域センター及び公民館の移転、多目的に活用できる機能について、たたき台を検討しているところである。活用調査等事業については、地域での意見交換をより深めていく上で必要となる、ゾーニングや土地利用の基本的な方向性について、専門的見地からの提案を求めるものである。

(渡邊正人)

文教民生委員会・分科会

質 能代市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正で、虐待防止対策、業務継続計画及び感染症対策の強化について、令和6年3月までの間は努力義務としているが、長期間を要する難しいものなのか。

答 期間は国が示したものであるが、多くの事業者は計画等を作成済みであり、今後国が示す留意事項等による調整等を行うなど、定められた期間内での対応は十分可能であると考えている。

質 従業者が少ないなど、研修期間の確保が困難な事業所への対応は。

答 各事業所内での研修等の対応は大変ではあると思うが、非常に大切な事項であるため頑張って取り組んでいただきたい。市としては、事業者からの相談があれば応じる。

質 高齢者の通いの場補助事業に関し、既存の高齢者交流サロンなどを実施する団体等は補助対象となるのか。

答 活動内容はほぼ該当するが、介護予防、重度化防止を目的としたも



北高跡地